

平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	2,622	7.3	183	—	190	969.9	119	625.6
26年6月期第2四半期	2,443	△3.4	12	△87.5	17	△83.0	16	△66.0

(注)包括利益 27年6月期第2四半期 147百万円 (350.2%) 26年6月期第2四半期 32百万円 (△32.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	7.18	—
26年6月期第2四半期	0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年6月期第2四半期	8,593		5,226		60.8	315.49
26年6月期	7,836		5,111		65.2	308.57

(参考)自己資本 27年6月期第2四半期 5,226百万円 26年6月期 5,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,191	4.5	300	215.8	310	193.7	193	192.7	11.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年6月期2Q	16,600,000 株	26年6月期	16,600,000 株
27年6月期2Q	34,805 株	26年6月期	33,251 株
27年6月期2Q	16,565,539 株	26年6月期2Q	16,567,766 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安の定着化及び経済政策の効果により、緩やかな回復基調が続き、雇用、所得環境は改善傾向にあります。また公共投資、設備投資も堅調に推移し、原油価格は当四半期末にかけて低下しました。海外では、米国の消費、生産は緩やかに増加し回復基調にあるものの、欧州の政治・経済は不安定であり、原油価格低下による産油国経済への影響懸念、中国経済の減速等海外景気動向や世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取り組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械受注は低調に推移しましたが、自動車関連受注は微増、産業工作機械関連受注が好調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。また、ガス・電力費等の費用は増加しましたが、経費の削減に努めたため前年同四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

こうした事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,622百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益は183百万円（前年同四半期は12百万円の営業利益）、経常利益は190百万円（前年同四半期は17百万円の経常利益）、四半期純利益は119百万円（前年同四半期は16百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安効果により輸出環境は好転していますが、輸出数量は横ばい推移しており、主力取引業界である自動車関連需要は微増、建設機械は引き続き低迷しました。一方で産業工作機械は円安効果によるコスト競争力の強化を追い風に受注が伸びたため、熱処理需要も好調に推移し前年同四半期比約16%増加しました。一方でガス、電気料金は高値推移したため、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めました。

風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発や再生可能エネルギー全量固定買取制度の制度面での混乱等から風力発電機事業は停滞しており、当社受注も低迷しております。

これらの結果、売上高は2,321百万円（前年同四半期比7.6%増）、セグメント利益は152百万円（前年同四半期は22百万円のセグメント損失）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は300百万円（前年同四半期比5.0%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比38.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して757百万円増加し、8,593百万円となりました。これは主に現金及び預金が312百万円増加、土地が437百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して642百万円増加し、3,367百万円となりました。これは主に短期借入金が46百万円減少したものの、一年以内償還予定社債が29百万円、長期借入金が485百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して114百万円増加し、5,226百万円となりました。これは主に利益剰余金が85百万円、その他有価証券評価差額金が22百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比較し312百万円増加し2,240百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は316百万円（前年同四半期は408百万円）となりました。これは主に売上債権73百万円の増加、法人税等の支払額64百万円があったものの税金等調整前四半期純利益189百万円、減価償却費161百万円、その他47百万円の増加などを計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は480百万円（前年同四半期は128百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得に466百万円支出したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は477百万円（前年同四半期は11百万円）となりました。これは主に長期借入による収入650百万円、社債の発行による収入100百万円があったものの、長期借入金の返済117百万円、社債の償還による支出89百万円などがあったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年2月9日に「業績予想の修正に関するお知らせ」により、通期連結業績予想の修正を行いました。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,937,783	2,250,636
受取手形及び売掛金	1,727,059	1,800,707
製品	9,925	11,604
仕掛品	41,959	28,202
原材料及び貯蔵品	89,639	87,968
繰延税金資産	13,650	16,213
その他	108,924	95,517
貸倒引当金	△337	△341
流動資産合計	3,928,604	4,290,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	876,607	848,883
機械装置及び運搬具(純額)	336,060	311,619
土地	1,838,851	2,275,851
リース資産(純額)	142,870	143,844
その他(純額)	86,775	86,976
有形固定資産合計	3,281,165	3,667,174
無形固定資産	145,262	123,574
投資その他の資産		
投資有価証券	208,147	241,516
繰延税金資産	153,669	144,790
その他	118,646	119,371
投資その他の資産合計	480,463	505,678
固定資産合計	3,906,891	4,296,428
繰延資産	965	6,764
資産合計	7,836,461	8,593,701

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,554	403,313
短期借入金	257,252	304,117
1年内償還予定の社債	178,000	207,000
未払金	136,692	145,332
未払費用	218,516	239,633
未払法人税等	70,681	82,786
賞与引当金	17,408	18,227
その他	164,751	202,114
流動負債合計	1,431,856	1,602,524
固定負債		
社債	223,000	205,000
長期借入金	446,242	932,131
退職給付に係る負債	456,167	463,178
その他	167,269	164,660
固定負債合計	1,292,678	1,764,970
負債合計	2,724,534	3,367,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,496,797	3,582,681
自己株式	△4,878	△5,108
株主資本合計	5,083,713	5,169,368
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,042	62,753
退職給付に係る調整累計額	△11,829	△5,914
その他の包括利益累計額合計	28,212	56,838
純資産合計	5,111,926	5,226,206
負債純資産合計	7,836,461	8,593,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,443,094	2,622,056
売上原価	1,849,219	1,918,734
売上総利益	593,874	703,322
販売費及び一般管理費	580,890	519,559
営業利益	12,984	183,762
営業外収益		
受取利息	2,316	2,040
受取配当金	1,516	1,864
受取賃貸料	3,872	4,149
スクラップ収入	4,809	4,665
その他	6,337	6,449
営業外収益合計	18,852	19,169
営業外費用		
支払利息	8,807	7,369
支払手数料	4,398	4,407
社債発行費	809	809
その他	38	96
営業外費用合計	14,054	12,683
経常利益	17,782	190,248
特別利益		
固定資産売却益	5,477	2,097
投資有価証券売却益	4,284	—
特別利益合計	9,761	2,097
特別損失		
固定資産除却損	132	3,120
その他	—	114
特別損失合計	132	3,234
税金等調整前四半期純利益	27,411	189,111
法人税、住民税及び事業税	22,098	75,962
法人税等調整額	△11,089	△5,869
法人税等合計	11,008	70,093
少数株主損益調整前四半期純利益	16,402	119,017
四半期純利益	16,402	119,017

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,402	119,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,389	22,710
退職給付に係る調整額	—	5,914
その他の包括利益合計	16,389	28,625
四半期包括利益	32,792	147,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,792	147,643
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,411	189,111
減価償却費	201,345	161,686
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,693	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	16,198
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,548	819
受取利息及び受取配当金	△3,832	△3,904
支払利息	8,807	7,369
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,284	—
固定資産除却損	132	3,120
売上債権の増減額(△は増加)	△8,516	△73,647
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,417	13,748
仕入債務の増減額(△は減少)	51,438	14,759
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,010	7,989
その他	8,958	47,374
小計	330,032	384,624
利息及び配当金の受取額	4,909	3,904
利息の支払額	△9,286	△7,755
法人税等の支払額	△5,312	△64,455
法人税等の還付額	87,983	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,326	316,317
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△127,300	△466,511
無形固定資産の取得による支出	△12,446	△2,599
投資有価証券の取得による支出	△1,498	△1,745
投資有価証券の売却による収入	9,000	—
その他	3,991	△9,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128,253	△480,523
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	350,000	650,000
長期借入金の返済による支出	△173,189	△117,246
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△79,000	△89,000
リース債務の返済による支出	△36,631	△33,572
配当金の支払額	△49,435	△32,893
その他	△158	△230
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,584	477,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	291,658	312,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,719,713	1,927,783
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011,371	2,240,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,156,927	286,166	2,443,094	—	2,443,094
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,307	130,307	△130,307	—
計	2,156,927	416,474	2,573,402	△130,307	2,443,094
セグメント利益又は損失(△)	△22,083	27,312	5,228	7,755	12,984

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7,755千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,321,664	300,392	2,622,056	—	2,622,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	132,921	132,921	△132,921	—
計	2,321,664	433,313	2,754,978	△132,921	2,622,056
セグメント利益	152,092	16,842	168,935	14,827	183,762

(注) 1. セグメント利益の調整額14,827千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。